

# YouTube講義 問題集と解答

株式会社 東京マキア





# 登録販売者試験対策講座

## 【問題解説：第一章】

株式会社 東京マキア



1. 医薬品のリスク評価に関する記述について、正しいものを全て選びなさい。

1

- a. 医薬品の効果とリスクは、薬物暴露時間と暴露量との和で表現される用量-反応関係に基づいて評価される。
- b. 治療量を超えた量を単回投与した後に毒性が発現するおそれが高いことは当然であるが、少量の投与でも長期投与されれば慢性的な毒性が発現する場合もある。
- c. 医薬品の投与量と効果の関係は、薬物用量を増加させるに伴い、効果の発現が検出されない「無作用量」から、最小有効量を経て「治療量」に至る。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4. (a,b) 5. (b,c)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

1

2. 医薬品のリスク評価に関する記述のうち、正しいものの組み合わせを1つ選びなさい。

- a. 動物実験で求められる50%致死量 (LD50) は、薬物の有効性の指標として用いられる。
- b. 医薬品の安全性に関する非臨床試験では、Good Laboratory Practice (GLP) に準拠して薬効-薬理試験や一般薬理作用試験、毒性試験が厳格に実施されている。
- c. 医薬品に対しては、製造販売後の調査及び試験の実施基準として Good Vigilance Practice (GVP) と製造販売後安全管理基準として Good Post-marketing Study Practice (GPSP) が制定されている。
- d. ヒトを対象とした臨床試験における効果と安全性の評価基準には、国際的に Good Clinical Practice (GCP) が制定されており、これに準拠した手順で安全な治療量を設定することが、新規医薬品の開発に関連する臨床試験 (治験) の目標の一つである。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

2

3. 小児の医薬品の使用に関する次の記述について、誤っているものはどれか。

- a. 血液脳関門が未発達であるため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。
- b. 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が長いので、服用した医薬品の吸収率は相対的に低い。
- c. 肝臓や腎臓の機能が未発達であるため、医薬品の成分の代謝・排泄に時間がかかり、副作用がより強く出ることがある。
- d. 医薬品の使用上の注意等において小児とは、おおよその目安として15歳未満である。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4.(d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

3

4. サリドマイドに関する記述について、正しいものを全て選びなさい。

- a. サリドマイドの光学異性体のうち、S体には鎮静作用、R体には血管新生を妨げる作用があるとされている。
- b. 日本では、西ドイツ（当時）の企業から勧告や警告が発せられていたにもかかわらず、出荷・販売停止、回収措置などの対応が遅れ、問題視された。
- c. サリドマイドによる薬害事件は、世界的に問題となったため、WHO（世界保健機関）加盟国を中心に市販後の副作用情報の収集の重要性が改めて認識され、各国における副作用情報の収集体制の整備が図られることとなった。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4. (a,b) 5. (b,c)

5. スモン訴訟に関する記述について、正しいものを全て選びなさい。

- a. スモン訴訟とは、抗生物質として販売されたキノホルム製剤を使用したことにより、亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. スモン患者に対しては、治療研究施設の整備、治療法の開発調査研究の推進、施術費及び医療費の自己負担分の公費負担等の制度が設けられている。
- c. スモン訴訟を契機の一つとして、医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品副作用被害救済制度が創設された。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4. (a,b) 5. (b,c)

6. HIV訴訟に関する記述について、正しいものを全て選びなさい。

- a. HIV訴訟は、血友病患者が、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が混入した原料血漿から製造された赤血球製剤の投与を受けたことにより、HIVに感染したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. HIV訴訟は、国及び製薬企業を被告として提訴されたが、1996年3月に大阪地裁と東京地裁で和解が成立した。
- c. HIV訴訟を契機に、血液製剤の安全確保対策として、検査や献血時の問診の充実が図られた。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4. (a,b) 5. (b,c)

7. CJD（クロイツフェルト・ヤコブ病）に関する記述について、正しいものを全て選びなさい。

- a. CJDは、タンパク質の一種であるプリオンが原因であるとされている。
- b. CJD訴訟は脳外科手術等に用いられたウシ乾燥硬膜を介してCJDに罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- c. CJD訴訟は、生物由来製品による感染等被害救済制度が創設される契機のひとつとなった。

1.(a) 2.(c) 3.(a,b) 4. (a,c) 5. (b,c)

# 登録販売者試験対策講座

## 【問題解説：第二章】

株式会社 東京マキア



### 1.胃に関する記述について、正しいものを全て選べ。

2

- a. 胃は上腹部にある中空の臓器で、中身が空の状態では扁平に縮んでいる。
- b. 胃の内壁の粘膜の表面には無数の微細な孔があり、胃腺につながって塩酸（胃酸）のほか、トリプシノーゼンを分泌している。
- c. 胃の粘膜表皮を覆う細胞から粘液が分泌され胃自体を保護しているが、胃液分泌と粘液分泌のバランスが崩れると、胃液により胃の内壁が損傷を受けることがある。
- d. 食道から送られてきた内容物は、胃の運動によって胃液と混和され、かゆ状となって小腸に送り出されるまで数時間、胃内に滞留する。

1.(a,b) 2.(b,c) 3.(c,d) 4. (a,b,c) 5. (a,c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

1

### 2.小腸に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 小腸は、全長3~4mの管状の臓器で、十二指腸、空腸、回腸の3部分に分かれる。
- b. 小腸は、栄養分の吸収に重要な器官であるため、内壁の表面積を大きくする構造を持つ。
- c. 十二指腸で分泌される腸液に含まれる成分の働きによって、膵液中のトリプシノーゼンがトリプシンになる。
- d. 回腸は、胃から連なる約25cmのC字型に彎曲した部分で、彎曲部には膵臓からの膵管と胆嚢からの胆管の開口部があり、それぞれ膵液と胆汁を腸管内へ送り込んでいる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

2

### 3.大腸に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 通常、糞便は、S状結腸、直腸に滞留している。
- b. 大腸内には、腸内細菌が多く存在し、腸管内の食物繊維（難消化性多糖類）を発酵分解する。
- c. 通常、糞便の成分の大半は、水分である。
- d. 大腸は、盲腸、虫垂、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸からなる管状の臓器で、内壁粘膜に絨毛がある。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

3

4.膵臓に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 膵液は、胃で酸性となった内容物を中和している。
- b. 膵液に含まれる酵素には、炭水化物及びタンパク質を分解する酵素はあるが、脂質を分解する酵素は含まれていない。
- c. 膵臓は、消化酵素を分泌する消化腺であるとともに、ホルモンを分泌する内分泌腺でもある。
- d. 膵臓は、胃の後下部に位置する細長い臓器で、膵液を胃へ分泌する。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

5.胆嚢・肝臓に関する記述について、正しいものを全て選べ。

- a. 胆嚢は、肝臓で産生された胆汁を濃縮して蓄える器官で、十二指腸に内容物が入ってくると収縮して腸管内に胆汁を送り込む。
- b. 肝臓に蓄えられたグリコーゲン、血糖値が下がったときなど、必要に応じてブドウ糖に分解されて血液中に放出される。
- c. 肝臓では、必須アミノ酸以外のアミノ酸を合成することができる。
- d. 肝臓は、脂溶性ビタミンを貯蔵することはできるが、水溶性ビタミンを貯蔵することはできない。

1.(a,b) 2.(b,c) 3.(c,d) 4.(a,b,c) 5.(a,c,d)

6.呼吸器系に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 喉頭から肺へ向かう気道が左右の肺へ分岐するまでの部分を気管という。
- b. 肺胞の周囲は、毛細血管が網のように取り囲んでおり、肺胞と毛細血管を取り囲んで支持している組織を髄質という。
- c. 扁桃はリンパ組織が集まってできていて、気道に侵入してくる細菌、ウイルス等に対する免疫反応が行われる。
- d. 呼吸運動は、肺自体の筋組織によって、肺が自力で拡張・収縮することにより行われる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

7.泌尿器系に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 糸球体の外側を袋状のボウマン嚢が包み込んでおり、これを腎小体という。
- b. 副腎皮質から分泌されるアルドステロンは、体内に水とカリウムを貯留し、塩分の排泄を促す作用がある。
- c. 腎小体では、原尿中のブドウ糖やアミノ酸等の栄養分及び血液の維持に必要な水分や電解質が再吸収される。
- d. 尿のほとんどは水分であり、尿素、尿酸等の老廃物、その他微量の電解質を含む。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,d) 4.(a,b,c) 5.(a,c,d)

8.循環器系に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 脾臓は、握りこぶし大のスポンジ状臓器で、胃の後方の左上腹部に位置する。
- b. 四肢を通る静脈では、一定の間隔をおいて内腔に向かう薄い帆状のひだ（静脈弁）が発達して血流の逆流を防いでいるが、リンパ管にはリンパ液の逆流防止のための弁はない。
- c. 心臓の左側部分（左心房、左心室）は、全身から集まってきた血液を肺へ送り出し、肺でガス交換された血液は、心臓の右側部分（右心房、右心室）に入り、そこから全身へ送り出される。
- d. 動脈は、弾力性があり、圧力がかかっても耐えられるようになっているが、血漿中の過剰な コレステロールが血管の内壁に蓄積すると、その弾力性が損なわれてもろくなる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(a,d) 4.(b,c) 5.(c,d)

9.リンパ系・脾臓に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. リンパ液の流れは、主に骨格筋の収縮によるものである。
- b. リンパ液の流速は、血流に比べて緩やかである。
- c. 脾臓の主な働きは、脾臓内を流れる血液から古くなった白血球を濾し取って処理することである。
- d. 組織液（組織中の細胞と細胞の間に存在する体液）は、組織中の細胞に酸素や栄養分を供給して二酸化炭素や老廃物を回収したのち、そのほとんどがリンパ管へ入ってリンパ液となるが、一部は毛細血管で吸収されて血液に還元される。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4. (a,b,c) 5. (a,c,d)

10.血液に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 赤血球は、中央部がくぼんだ円盤状の細胞で、血液全体の約40%を占め、赤い血色素（ヘモグロビン）を含む。
- b. 血漿は、90%以上が水分からなり、アルブミン、グロブリン等のタンパク質のほか、微量の脂質、糖質、電解質を含む。
- c. 血管の損傷部位には、白血球が粘着、凝集して傷口を覆う。
- d. ヘモグロビンは、酸素が少なく二酸化炭素が多いところ（末梢組織の毛細血管）で二酸化炭素分子を放出する性質がある。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4. (a,b,c) 5. (b,c,d)

11.白血球に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 白血球は、体内に侵入した細菌やウイルス等の異物に対する防御を受け持つ細胞であり、形態や機能等の違いにより、数種類に細分類される。
- b. リンパ球は、白血球の約1/3を占め、血液のほかリンパ液にも分布して循環している。
- c. 単球は、白血球のなかで最も数が多く、白血球の約60%を占めている。
- d. 好中球は、強い食作用を持つが、白血球の約5%と少なく、血管壁を通り抜けて組織の中に入り込むことができない。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

12.中枢神経系に関する記述について、正しいものを全て選べ。

- a. 脳は、記憶、情動、意志決定等の働きを行っており、脳の下部には、自律神経系、ホルモン分泌等の様々な調節機能を担っている部位（視床下部など）がある。
- b. 脳において、血液の循環量は心拍出量の約15%、酸素の消費量は全身の約20%、ブドウ糖の消費量は全身の約25%である。
- c. 脳は脊髄と、延髄でつながっている。
- d. 脊髄には、心拍数を調節する心臓中枢、呼吸を調節する呼吸中枢がある。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4. (a,b,c) 5. (b,c,d)

13.末梢神経系に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 末梢神経系は、随意運動、知覚等を担う体性神経系と、生命や身体機能の維持のため無意識に働いている機能を担う自律神経系に分類される。
- b. 交感神経系は、体が闘争や恐怖等の緊張状態に対応した態勢をとるように働くため、心臓に対しては心拍数を増加させ、胃に対しては胃液分泌を亢進させる。
- c. 交感神経系興奮で瞳孔は収縮し、副交感神経系興奮で瞳孔は散大する。
- d. 局所（腋窩等）に分布するアポクリン腺を支配する交感神経線維の末端ではノルアドレナリンが神経伝達物質として放出される。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,d) 4. (a,b,c) 5. (b,c,d)

14.筋組織に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

（ a ） は不随意筋であり、筋線維に横縞模様がなく、消化管壁、血管壁、膀胱等に分布し、比較的弱い力で持続的に収縮する特徴がある。

（ b ） は、心臓壁にある筋層を構成する筋組織で、不随意筋であるが筋線維には横縞模様があり、強い収縮力と持久力を兼ね備えている。

- 1. a.心筋 b.骨格筋
- 2. a.心筋 b.平滑筋
- 3. a.平滑筋 b.心筋
- 4. a.骨格筋 b.心筋

15.目に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 角膜と水晶体の間は、組織液（房水）で満たされ、角膜に一定の圧（眼圧）を生じさせている。角膜や水晶体には血管が通っていて、血液によって栄養分や酸素が供給される。
- b. 角膜に射し込んだ光は、角膜、房水、水晶体、硝子体を透過しながら屈折して網膜に焦点を結ぶ。
- c. 遠近の焦点調節は、主に水晶体の厚みを変化させることによって行われている。水晶体は、その周りを囲んでいる毛様体の収縮・弛緩によって、遠くの物を見るときには丸く厚みが増し、近くの物を見るときには扁平になる。
- d. 目の充血は血管が拡張して赤く見える状態であるが、結膜の充血では白目の部分だけでなく眼瞼の裏側も赤くなる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)



16.鼻に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. においに対する感覚は順応を起こしにくく、長時間同じにおいを嗅いでいても、そのにおいをいつまでも鋭敏に感じる。
- b. 鼻中隔は軟骨と骨でできており、毛細血管をほとんど含まない。
- c. 鼻炎は鼻腔の粘膜に炎症を起こして腫れた状態であり、鼻汁過多や鼻閉（鼻づまり）等の症状を生じる。
- d. 副鼻腔に入った埃等の粒子は、粘液に捉えられて線毛の働きによって鼻腔内へ排出される。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

17.耳に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 耳垢は、内耳にある耳垢腺や皮脂腺からの分泌物に、埃や内耳上皮の老廃物などが混じったものである。
- b. 蝸牛の内部は、リンパ液で満たされているが、前庭の内部は、空洞である。
- c. 耳は、聴覚情報と平衡感覚を感知する器官で、外耳、中耳、内耳からなる。
- d. 小さな子供では、耳管が太く短くて、走行が水平に近いので、鼻腔からウイルスや細菌が侵入し感染が起こりやすい。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

18.皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 38℃以上の高熱を伴った発疹、発赤、火傷様の水疱等が比較的短時間のうちに全身の皮膚、口、眼等の粘膜に現れる病態である。
- b. 発生頻度は、人口100万人当たり年間1～6人と報告されている。
- c. 発症の可能性がある医薬品の種類が少なく、発症の予測は容易である。
- d. 原因医薬品の使用開始後2週間以内に発症することが多く、1ヶ月以上経ってから起こることはない。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

19.偽アルドステロン症に関する記述について、正しい字句の組み合わせはどれか。

体内に（a）と水が貯留し、体から（b）が失われることによって生じる病態であり、（c）からのアルドステロン分泌が増加していないにもかかわらずこのような状態となることから、偽アルドステロン症と呼ばれている。

- 1. a.カリウム b.ナトリウム c.副腎髄質
- 2. a.カリウム b.ナトリウム c.副腎皮質
- 3. a.ナトリウム b.カリウム c.副腎髄質
- 4. a.ナトリウム b.カリウム c.副腎皮質

20. 医薬品の吸収、代謝、排泄に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 鼻腔の粘膜に医薬品を適用する場合、その成分は循環血液中に移行しないため、一般用医薬品には全身作用を目的とした点鼻薬はない。
- b. 代謝とは、物質が体内で化学的に変化することである。
- c. 医薬品の有効成分の母乳中への移行は、体内からの消失経路としての意義は小さいが、乳児に対する副作用の発現という点で、軽視することはできない。
- d. 禁煙補助薬のニコチン（咀嚼剤）は、口腔粘膜から吸収され、循環血液中に入った後、初めに肝臓で代謝を受けて全身に分布する。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

21. 骨に関する記述について、正しいものを一つ選べ。

- 1. 骨の関節面は、弾力性に富む靭帯に覆われている。
- 2. 骨組織を構成する無機質は骨に柔軟性を与え、有機質（タンパク質及び多糖体）は骨の強靭さを保つ。
- 3. 胸骨は、造血機能を担う骨の一つである。

## 登録販売者試験対策講座

### 【問題解説：第三章】

株式会社 東京マキア



1. プソイドエフェドリン塩酸塩配合の鼻炎用内服薬とパーキンソン病治療薬セレギリン塩酸塩との併用を避ける理由はどれか。

3-1

- 1. プソイドエフェドリンの効果が消失する。
- 2. プソイドエフェドリンの副作用が現れやすくなる。
- 3. セレギリン塩酸塩の効果が消失する。
- 4. セレギリン塩酸塩の副作用が現れやすくなる。

2.交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を収縮させることによって、その充血や腫れを和らげることを目的としたものはどれか。

1. パンテノール
2. グリチルリチン酸
3. ベラドンナ総アルカロイド
4. クロルフェニラミンマレイン酸塩
5. フェニレフリン塩酸塩

3.プソイドエフェドリン塩酸塩の添付文書等における「次の人は服用しないこと」に関する次の記述のうち、正しいものを全て選べ。⑤

- a. 徐脈又は頻脈を引き起こし、心臓病の症状を悪化させるおそれがあるため、心臓病の診断を受けた人は服用しないこととされている。
- b. 喘息発作を誘発するおそれがあるため、ぜんそくを起こしたことがある人は服用しないこととされている。
- c. 肝臓でグリコーゲンを分解して血糖値を上昇させる作用があり、糖尿病を悪化させるおそれがあるため、糖尿病の診断を受けた人は服用しないこととされている。
- d. 尿の貯留・尿閉を生じるおそれがあるため、前立腺肥大による排尿困難の症状がある人は服用しないこととされている。

1.(a,d) 2.(a,b,c) 3.(a,c,d) 4.(b,c,d) 5.(a,b,c,d)

4.鎮咳去痰薬に配合されたメチルエフェドリン塩酸塩に期待される作用として、正しいものはどれか。

1. 延髄の咳嗽中枢に作用して、咳を抑える。
2. 気管支の平滑筋に直接作用して弛緩させ、気管支を拡張させる。
3. 交感神経系を刺激して、気管支を拡張させる。
4. 痰の中の粘性蛋白質に作用して、その粘りけを減少させる。

5.眼に現れる医薬品の副作用に関する次の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組合せはどれか。⑤

抗コリン作用を有する ( a ) を配合した医薬品を使用した場合、眼圧が ( b ) し、眼痛や眼の充血に加え、急激な視力低下を来すことがある。特に ( c ) がある人では嚴重な注意が必要である。眼圧の ( b ) に伴って、頭痛や吐きけ・嘔吐等の症状が現れることもあり、長時間放置すると、不可逆的な視覚障害を起こすことがある。

1. aフルスルチアミン塩酸塩 b上昇 c緑内障
2. aフルスルチアミン塩酸塩 b下昇 c白内障
3. aブチルスコポラミン臭化物 b上昇 c白内障
4. aブチルスコポラミン臭化物 b下昇 c緑内障
5. aブチルスコポラミン臭化物 b上昇 c緑内障

6.鎮暈薬（乗物酔い防止薬）とその配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- スコポラミン臭化水素酸塩は、乗物酔い防止に古くから用いられている抗ヒスタミン成分である。
- 無水カフェインは、平衡感覚の混乱によるめまいを軽減させることを目的として配合されており、抗めまい成分の作用による眠気の解消のために配合されているわけではない。
- 胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげ、乗物酔いに伴う吐きけを抑えることを目的として、局所麻酔成分が配合されている場合がある。
- ジメンヒドリナートは、外国において、乳児突然死症候群や乳児睡眠時無呼吸発作のような致命的な呼吸抑制を生じたとの報告があるため、15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

7.次の眼科用薬配合成分のうち、毛様体におけるアセチルコリンの働きを助け目の調節機能改善効果を目的として用いられるものはどれか。

- リゾチーム塩酸塩
- ナファゾリン硝酸塩
- ネオスチグミンメチル硫酸塩
- アズレンスルホン酸ナトリウム
- コンドロイチン硫酸ナトリウム

8.一般用医薬品として皮膚に用いられるステロイド性抗炎症成分に関する記述について、正しいものを一つ選べ。

- 主なステロイド性抗炎症成分としては、デキサメタゾン、プレドニゾン、吉草酸エステル酢酸エステル、ピロキシカム等がある。
- 末梢組織の免疫機能を高める作用を示す。
- 水痘（水疱瘡）、みずむし、たむし又は化膿している患部について、症状を改善させる作用を示す。
- 広範囲に生じた皮膚症状や、慢性の湿疹・皮膚炎を対象とするものではない。

9.解熱鎮痛薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- アセトアミノフェンは、主として中枢作用によって解熱・鎮痛をもたらすため、末梢における抗炎症作用は期待できない分、他の解熱鎮痛成分のような胃腸障害は少なく、空腹時に服用できる製品もある。
- ボウイは、フトミズ科の *Pheretima aspergillum* Perrier 又はその近縁動物の内部を除いたものを基原とする生薬で、古くから「熱さまし」として用いられてきた。
- イブプロフェンは、アスピリンに比べて胃腸への悪影響が少ないことから、一般用医薬品として、小児向けの製品もある。
- イソプロピルアンチピリンは、現在、一般用医薬品で唯一のピリン系解熱鎮痛成分である。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

10.グリチルリチン酸に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. グリチルリチン酸を含む代表的な生薬成分であるカンゾウは、抗炎症作用を期待して用いられる。
- b. 化学構造がステロイド性抗炎症成分と類似していることにより、抗炎症作用を示すと考えられている。
- c. 医薬品では1日摂取量がグリチルリチン酸として400mgを超えないように用量が定められている。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c)

11.次の医薬品成分のうち、生じた血栓が分解されにくくなるため、それを含有することにより内服用の一般用医薬品の添付文書等において、「相談すること」の項目中に、「次の診断を受けた人」として「血栓のある人（脳血栓、心筋梗塞、血栓静脈炎等）、血栓症を起こすおそれのある人」と記載することとされている成分はどれか。

- 1. 次硝酸ビスマス
- 2. トラネキサム酸
- 3. エテンザミド
- 4. グリチルリチン酸二カリウム
- 5. パパペリン塩酸塩

12.歯痛薬又は歯槽膿漏薬の配合成分とその成分を配合する目的との関係について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ジブカイン塩酸塩－齲蝕を生じた部分における細菌の繁殖を抑える。
- b. グリチルレチン酸－歯髄を通っている知覚神経の伝達を遮断して痛みを鎮める。
- c. カルバゾクロム－炎症を起こした歯周組織からの出血を抑える。
- d. アラントイン－炎症を起こした歯周組織の修復を促す。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

13.かぜ及びかぜ薬に関する記述について、正しいものを全て選べ。

- a. かぜとは、主にウイルスが鼻や喉などに感染して起こる上気道の急性炎症の総称で、通常は数日～1週間程度で自然寛解し、予後は良好である。
- b. かぜの約8割はウイルス（ライノウイルス、コロナウイルスなど）の感染が原因で、細菌の感染は原因とはならない。
- c. かぜとよく似た症状が現れる疾患に、喘息、アレルギー性鼻炎、リウマチ熱、関節リウマチ、肺炎、肺結核、髄膜炎、急性肝炎、尿路感染症等がある。
- d. かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、ウイルスを体内から除去するものではなく、咳で眠れなかったり、発熱で体力を消耗しそうなときなどに、それら諸症状の緩和を図る対症療法薬である。

1.(a,b) 2.(b,c) 3.(a,b,c) 4.(a,c,d) 5.(b,c,d)

14.鎮咳去痰薬に含まれる成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. コデインリン酸塩は、妊娠中に摂取された場合、吸収された成分の一部が血液-胎盤関門を通過して胎児へ移行することが知られている。
- b. ジヒドロコデインリン酸塩には、胃腸の運動を低下させる作用があり、副作用として便秘が現れることがある。
- c. メチルエフェドリン塩酸塩は、副交感神経系を刺激して気管支を拡張させる作用を示し、呼吸を楽にして咳や喘息の症状を鎮めることを目的として用いられる。
- d. マオウの中樞神経系に対する作用は、同じ気管支拡張成分であるメトキシフェナミン塩酸塩に比べ弱く、依存性の心配はない。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

15.胃の薬に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 胆汁末は、肝臓の働きを高める作用もあるとされるが、肝臓病の診断を受けた人ではかえって症状を悪化させるおそれがある。
- b. 制酸成分は、かぜ薬等でも配合されていることが多く、併用によって制酸作用が強くなりすぎる可能性があるほか、高マグネシウム血症等を生じるおそれがある。
- c. オウバクが配合された散剤は、苦味が強いのでオブラートに包んで服用するとよい。
- d. スクラルファートは、炭水化物、脂質、タンパク質等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助けることを目的として用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

16.胃の薬に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. アルジオキサは、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。
- b. ピレンゼピン塩酸塩は、排尿困難の症状がある人では、症状の悪化を招くおそれがある。
- c. テプレノン は、胃粘膜保護作用があり、特に重篤な副作用はない。
- d. リパーゼは、アセチルコリンの働きを抑え、過剰な胃液の分泌を抑える。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

17.腸の薬の代表的な配合成分等に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 収斂成分を主体とする止瀉薬については、細菌性の下痢や食中毒のときに使用して腸の運動を鎮めると、かえって状態を悪化させるおそれがある。
- b. ロペラミド塩酸塩が配合された止瀉薬は、主に食あたりや水あたりによる下痢の症状に用いることはできない。
- c. ヒマシ油は、防虫剤や殺鼠剤を誤って飲み込んだ場合のような脂溶性の物質による中毒に用いられる。
- d. ピコスルファートナトリウムは、胃や小腸で分解され、大腸への刺激作用を示す。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

18.腸の薬の配合成分とその作用に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. タンニン酸ベルベリン ー瀉下
- b. センノシド ー止瀉
- c. ロペラミド塩酸塩 ー止瀉
- d. ジオクチルソジウムスルホサクシネート (D S S) ー瀉下

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

19.瀉下薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. センナは、流産・早産を誘発するおそれがある。
- b. ダイオウは、吸収された成分の一部が乳汁中に移行し、乳児に便秘を生じさせるおそれがある。
- c. 硫酸マグネシウムは、肝臓病の診断を受けた人では、高マグネシウム血症を生じさせるおそれがある。
- d. ピコスルファートナトリウムは、胃や小腸では分解されないが、大腸に生息する腸内細菌によって分解されて、大腸への刺激作用を示すようになる。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

20.点眼薬に配合される成分とその作用の関係が正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ネオスチグミンメチル硫酸塩 ーコリンエステラーゼの働きを抑える
- b. ビタミンB6 ー血管収縮し目の充血を除去する
- c. 硫酸亜鉛水和物 (硫酸亜鉛) ー新陳代謝を促し目の疲れを改善する
- d. コンドロイチン硫酸ナトリウム ー結膜や角膜の乾燥を防ぐ

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

21.衛生害虫と防除に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ゴキブリの卵は、医薬品の成分が浸透しやすく、燻蒸処理を行うのが効果的とされている。
- b. イエダニは、吸血によって皮膚に発疹や痒みを引き起こすほか、日本脳炎、マラリア、黄熱、デング熱等の重篤な病気を媒介する。
- c. 有機リン系殺虫成分の殺虫作用は、アセチルコリンを分解する酵素 (アセチルコリンエステラーゼ) と不可逆的に結合してその働きを阻害することによる。
- d. シラミの防除には、殺虫成分としてフェノトリンが配合されたシャンプーやてんか粉が用いられるが、フェノトリンにはシラミの刺咬による痒みや腫れ等の症状を和らげる作用はない。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

22. 駆虫薬及びその配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 駆虫薬は腸管内に生息する虫体にのみ作用し、虫卵や腸管内以外に潜伏した幼虫（回虫の場合）には駆虫作用が及ばないため、それらが成虫となった頃にあらためて使用しないと完全に駆除できない。
- b. 駆虫薬はその有効成分（駆虫成分）が腸管内において薬効をもたらす局所作用を目的とする医薬品であり、消化管からの駆虫成分の吸収は好ましくない全身作用（頭痛、めまい等の副作用）を生じる原因となるため、極力少ないことが望ましい。
- c. カイニン酸の服用後、一時的に物が黄色く見えたり、耳鳴り、口渇が現れることがある。
- d. パモ酸ピルビニウムは、アセチルコリン伝達を妨げて、回虫及び蟯虫の運動筋を麻痺させる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

23. コレステロール及びリポタンパク質に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 低密度リポタンパク質（LDL）は、コレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶリポタンパク質である。
- b. コレステロールは水に溶けやすい物質であるため、血液中では血漿タンパク質と結合したリポタンパク質となって存在する。
- c. コレステロールは細胞の構成成分で、胆汁酸や副腎皮質ホルモン等の生理活性物質の産生に重要な物質である。
- d. 血漿中のリポタンパク質のバランスの乱れは、生活習慣病を生じる以前の段階では自覚症状を伴うことが多い。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

24. 高コレステロール改善薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. リノール酸は、コレステロールと結合して、代謝されやすいコレステロールエステルを形成するとされ、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待して用いられる。
- b. ビタミンEは、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑えるほか、末梢血管における血行を促進する作用があるとされ、血中コレステロール異常に伴う末梢血行障害（手足の冷え、痺れ）の緩和等を目的として用いられる。
- c. リボフラビンの摂取によって尿が黄色くなった場合は、使用を中止する必要がある。
- d. パンテチンは、腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きを期待して用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

25. 貧血と貧血用薬及びその成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 鉄分の摂取不足が生じた場合、直ちにヘモグロビン量が減少し、貧血の症状が現れる。
- b. 鉄製剤を服用すると、便が白くなることがある。
- c. 骨髄での造血機能を高める目的で、貧血用薬に硫酸コバルトが配合されている場合がある。
- d. ビタミンC（アスコルビン酸等）は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)



26. 滋養強壯保健薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. グルクロノラクトンは、ビタミン様物質のひとつで、ビタミンCの吸収を助ける作用がある。
- b. ガンマ-オリザノールは、米油及び米胚芽油から見出された抗酸化作用を示す成分である。
- c. カルシウムは、骨や歯の形成に必要な栄養素であり、筋肉の収縮、血液凝固、神経機能にも関与する。
- d. システインは、生体におけるエネルギーの産生効率を高めるとされ、骨格筋の疲労の原因となる乳酸の分解を促す等の働きを期待して用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

27. きず口等の殺菌消毒薬及びその配合成分に関する記述について、正しいものを一つ選べ。

- 1. オキシドールは、作用の持続性や組織への浸透性が高い。
- 2. アクリノールは、徐々にヨウ素が遊離して殺菌作用を示すように工夫されたものである。
- 3. クロルヘキシジン塩酸塩は、真菌類に対する殺菌消毒作用がある。
- 4. ベンザルコニウム塩化物は、石鹼との混合によって殺菌消毒効果が高くなる。

28. 禁煙補助剤に関する以下の記述について、誤っているものはどれか。

- 1. 大量に使用しても禁煙達成が早まるものでなく、かえってニコチン過剰摂取による副作用のおそれがあるため、1度に2個以上の使用は避ける必要がある。
- 2. 口腔内がアルカリ性になるとニコチンの吸収が低下するため、口腔内をアルカリ性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避けることとされている。
- 3. 禁煙補助剤は長期間に渡って使用されるべきものでなく、使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避けることとされている。
- 4. ニコチンは交感神経系を興奮させる作用を示し、アドレナリン作動成分が配合された医薬品（鎮咳去痰薬、鼻炎用薬、痔疾用薬等）との併用により、その作用を増強させるおそれがある。

29. 次の記述は、鎮暈薬（乗物酔い防止薬）の代表的な配合成分に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 抗コリン成分は、中枢に作用して自律神経系の混乱を軽減させるとともに、末梢では消化管の緊張を低下させる作用を示す。
- b. 抗ヒスタミン成分は、延髄にある嘔吐中枢への刺激や内耳の前庭における自律神経反射を抑える作用を示す。
- c. 抗ヒスタミン成分として、ジフェニドール塩酸塩が配合されている場合がある。
- d. 抗コリン成分であるスコポラミン臭化水素酸塩は、消化管から吸収されにくく、抗ヒスタミン成分であるメクリジン塩酸塩と比べて作用の持続時間は長い。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4.(c,d)

30.ジフェンヒドラミン塩酸塩が含まれている内服アレルギー用薬に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 抗コリン作用を示すため、排尿困難の症状がある人では、症状の悪化を招くおそれがある。
2. 緑内障の診断を受けた人では、使用する前にその適否について、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされるべきである。
3. 服用した後は、乗物又は機械類の運転操作をしても問題ない。
4. 吸収されたジフェンヒドラミンの一部が乳汁に移行して乳児に昏睡を生じおそれがあるため、母乳を与える女性は使用を避けるか、使用する場合には授乳を避ける必要がある。

31.角質軟化薬及び化膿性皮膚疾患用薬の配合成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 硫酸フラジオマイシン（フラジオマイシン硫酸塩）は、細菌のタンパク質合成を阻害することによる抗菌作用を目的として用いられる。
2. スルファジアジンは、細菌のDNA合成を阻害することによる抗菌作用を目的として用いられる。
3. グリセリンは、皮膚の角質層を構成するケラチンを変質させることによる角質軟化作用を目的として用いられる。
4. 尿素は、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善することを目的として用いられる。

1.かぜ（感冒）の症状の緩和に用いられる漢方処方製剤に関する記述について、正しいものを一つ選べ。

3-2

1. 葛根湯は、体力中等度以上のものの感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みに適すとされ、重篤な副作用はない。
2. 麻黄湯は、体力中等度で、ときに脇腹（腹）からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの食欲不振、吐きけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状に適すとされる。
3. 柴胡桂枝湯は、体力虚弱で、神経過敏で気分がすぐれず胃腸の弱いもののかぜの初期、血の道症に適すとされる。
4. 小青竜湯は、体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様の痰を伴う咳や鼻水が出るものの気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症に適すとされる。

2.かぜの症状の緩和に用いられる次の漢方処方製剤のうち、構成生薬としてマオウとカンゾウの両方を含む製剤の組み合わせはどれか。

- a. 葛根湯
- b. 麻黄湯
- c. 柴胡桂枝湯
- d. 半夏厚朴湯
- e. 小青竜湯

1.(a,b,e) 2.(a,c,d) 3.(a,d,e) 4.(b,c,d) 5.(b,c,e)

3. 次の咳止めや痰を出しやすくする目的で用いられる漢方処方製剤のうち、構成生薬としてカンゾウを含まないものはどれか。

1. 半夏厚朴湯
2. 柴朴湯
3. 麦門冬湯
4. 麻杏甘石湯
5. 神秘湯

4. 循環器用薬及びその配合成分に関する記述について、正しいものを全て選べ。

- a. コウカは、末梢の血行を促して鬱血を除く作用があるとされる。
- b. ヘプロニカートは、エネルギー代謝に関与する酵素の働きを助ける成分で、摂取された栄養素からエネルギーが産生される際にビタミンB群とともに働き、別名コエンザイムQ10とも呼ばれる。
- c. ルチンは、ビタミン様物質の一種で、高血圧等における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる。
- d. 七物降下湯は、体力中等度以下で、顔色が悪くて疲れやすく、胃腸障害のないものの高血圧に伴う随伴症状（のぼせ、肩こり、耳鳴り、頭重）に適すとされる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4.(a,c,d) 5.(b,c,d)

5. 漢方処方製剤に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。

1. 防風通聖散は、体力中等度以上で、赤ら顔でときにのぼせがあるものにきび、顔面・頭部の湿疹・皮膚炎、赤鼻（酒さ）に適すとされるが、胃腸の弱い人では食欲不振、胃部不快感の副作用が現れやすい等、不向きとされる。
2. 防己黄耆湯は、体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節痛、むくみ、多汗症、肥満（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）に適すとされる。
3. 黄連解毒湯は、体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔い、血の道症、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）では不向きとされる。

6. 強心薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. センソは、ヒキガエル科のシナヒキガエル等の毒腺の分泌物を集めたものを基原とする生薬で、有効域が比較的狭く、一般用医薬品では1日用量が5mg以下となるよう用法・用量が定められている。
- b. ゴオウは、ウシ科のウシの胆嚢中に生じた結石を基原とする生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。
- c. ロクジョウは、シカ科のジャコウジカの雄の麝香腺分泌物を基原とする生薬で、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる作用があるとされる。
- d. リュウノウは、ウグイスガイ科のアコヤガイ、シンジュガイ又はクロチョウガイ等の外套膜組成中に病的に形成された顆粒状物質を基原とする生薬で、鎮静作用等を期待して用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

## 7.小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。

1. 小児の疳は、乾という意味もあるとも言われ、瘦せて血が少ないことから生じると考えられており、鎮静作用のほか、血液の循環を促す作用があるとされる生薬成分を中心に配合されている。
2. 柴胡加竜骨牡蛎湯を小児の夜泣きに用いる場合、1週間位服用しても症状の改善がみられないときには、いったん服用を中止して、専門家に相談する等の対応が必要である。
3. ゴオウは、ジンチョウゲ科のジンコウ、その他同属植物の材、特にその辺材の材質中に黒色の樹脂が沈着した部分を採取したものを基原とする生薬で、鎮静、健胃、強壮などの作用を期待して用いられる。
4. 小建中湯は、体力虚弱で疲労しやすく腹痛があり、血色がすぐれず、ときに動悸、手足のほてり、冷え、ねあせ、鼻血、頻尿及び多尿などを伴うものの小児虚弱体質、疲労倦怠、慢性胃腸炎、腹痛、神経質、小児夜尿症、夜なきに適すとされる。

## 8.泌尿器用薬とそれに配合される成分に関する以下の記述について誤っているものを一つ選べ。

1. 日本薬局方収載のウワウルシは、煎薬として残尿感、排尿に際して不快感のあるものに用いられる。
2. 八味地黄丸は、体力に関わらず、排尿異常があり、ときに口が渇くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。
3. 尿量増加（利尿）作用を期待して、カゴソウ（シソ科のウツボグサの花穂を基原とする生薬）が配合されている場合がある。
4. 竜胆瀉肝湯は、体力中等度以上で、下腹部に熱感や痛みがあるものの排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ（おりもの）、頻尿に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では、胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

## 9.婦人薬として用いられる主な漢方処方製剤に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 当帰芍薬散は、体力中等度又はやや虚弱で冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされる。
- b. 四物湯は、体力虚弱で、冷え症で皮膚が乾燥、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの月経不順、月経異常、更年期障害、血の道症、冷え症、しもやけ、しみ、貧血、産後あるいは流産後の疲労回復に適すとされる。
- c. 桂枝茯苓丸は、比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷え等を訴えるものの、月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきびに適すとされる。
- d. 加味逍遙散は、体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちなものの月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）、痔疾、打撲症に適すとされる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

## 10.毛髪用薬の配合成分に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 「壮年性脱毛症」、「円形脱毛症」等の疾患名を効能・効果に掲げた毛髪用薬は、医薬品及び医薬部外品として製造販売されている。
- b. カシュウは、抗菌、血行促進、抗炎症等の作用を期待して用いられる。
- c. カルプロニウム塩化物は、末梢組織（適用局所）においてアセチルコリンに類似した作用（コリン作用）を示し、頭皮の血管を拡張し、毛根への血行を促す。
- d. チクセツニンジン は、血行促進、抗炎症等の作用を期待して用いられる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

# 登録販売者試験対策講座

## 【問題解説：第四章】

株式会社 東京マキア



1.日本薬局方に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

4

- a. 収載されている医薬品で、一般用医薬品として販売されているものはない。
- b. 収載されている物はすべて医薬品に該当する。
- c. 都道府県知事が医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働省の意見を聴いて定めたものである。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4.(a,b) 5.(b,c)

2.薬局に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 薬局は、厚生労働大臣の許可を受けなければ開設してはならない。
- b. 医薬品を取り扱う場所であって、薬局として開設の許可を受けていないものについては、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。
- c. 薬局開設者が登録販売者であるときは、自らが管理者となることができる。
- d. 調剤を実施する薬局は、医療法においては医療提供施設に位置づけられている。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

3.薬局及び医薬品の販売業に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 医薬品医療機器等法第25条において、医薬品の販売業の許可は、店舗販売業の許可、配置販売業の許可又は卸売販売業の許可の3種類に分けられている。
- b. 薬局の開設及び医薬品の販売業の許可は、5年ごとに、その更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。
- c. 配置販売業者は、特定の購入者の求めに応じて医薬品の包装を開封して分割販売することができる。
- d. 薬局における一般の生活者に対する医薬品の販売行為は、薬局の業務に付随して行われる行為であるので、医薬品の販売業の許可は必要としない。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

4.店舗販売業に関する次の記述のうち、正しいものを全て選びなさい。

- a. 店舗販売業の店舗において、薬剤師が従事していても調剤を行うことはできない。
- b. 店舗管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないよう、その店舗に勤務する他の従事者を監督するなど、その店舗の業務につき、必要な注意をしなければならない。
- c. 登録販売者は、過去5年間のうち、登録販売者として業務に従事した期間が通算して2年あれば、要指導医薬品を販売する店舗の店舗管理者になることができる。

1.(b) 2.(a,b) 3.(a,c) 4.(b,c) 5.(a,b,c)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

4

5.配置販売業に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 店舗販売業において、過去5年間のうち、登録販売者として業務に従事した期間が通算して3年ある者は、配置販売業における第二类医薬品を販売する区域の区域管理者になることができる。
- b. 配置販売業者の配置員は、医薬品医療機器等法第32条の規定に基づき、その氏名等の所定の事項を、医薬品の配置販売に従事してから30日以内に、配置販売に従事している区域の都道府県知事に届け出なければならない。
- c. 配置販売業者は、厚生労働大臣が定める基準に適合する要指導医薬品の販売が認められている。
- d. 店舗販売業者が、配置による販売又は授与の方法で医薬品を販売しようとする場合には、別途、配置販売業の許可を受ける必要がある。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

5

6.医薬品の分割販売に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 配置販売業者は、特定の購入者の求めに応じて、医薬品を分割販売することができる。
- b. 薬局開設者は、医薬品の分割販売のために、予め小分けした製品を薬局内に陳列することができる。
- c. 薬局開設者は、毒薬を開封して分割販売することができる。
- d. 店舗管理者が薬剤師である店舗販売業者は、劇薬を開封して分割販売することができる。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

6

7.店舗販売業者が行う一般用医薬品のリスク区分に応じた情報提供等に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 第一類医薬品を販売又は授与する場合には、その店舗において医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者に、書面を用いて、必要な情報を提供させなければならない。
- b. 指定第二类医薬品を販売又は授与する場合には、当該指定第二类医薬品を購入しようとする者等が、禁忌事項を確認すること及び当該医薬品の使用について薬剤師又は登録販売者に相談することを勧める旨を確実に認識できるようにするために必要な措置を講じなければならない。
- c. その店舗において第三類医薬品を購入した者から相談があった場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者に、必要な情報を提供させることが望ましいものの、特に法律上規定は設けられていない。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4.(a,b) 5.(b,c)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

7

8. 店舗販売業者が特定販売を行うことについて広告するときに表示しなければならない事項は次のうちどれか。

- a. 店舗の管理者の住所
- b. 特定販売を行う一般用医薬品の使用期限
- c. 一般用医薬品の陳列の状況を示す写真
- d. 特定販売を行う一般用医薬品の製造番号又は製造記号

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

9. 要指導医薬品及び一般用医薬品に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 要指導医薬品は、患者の容態に合わせて処方量を決めて交付するもののため、薬剤師の対面による情報の提供及び薬学的知見に基づく指導が必要である。
- b. 要指導医薬品には、劇薬に指定されているものはない。
- c. 要指導医薬品及び一般用医薬品では、注射等の侵襲性の高い使用法は用いられていない。
- d. 要指導医薬品は、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

10. 医薬品医療機器等法に基づく毒薬及び劇薬に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 業務上毒薬を取り扱う者は、毒薬を貯蔵、陳列する場所については、かぎを施さなければならない。
- b. 毒薬及び劇薬は、単に毒性、劇性が強いものだけでなく、薬効が期待される摂取量（薬用量）と中毒のおそれがある摂取量（中毒量）が接近しており安全域が狭いため、その取扱いに注意を要するもの等が指定されている。
- c. 毒薬又は劇薬を、18歳未満の者その他安全な取扱いに不安のある者に交付することは禁止されている。
- d. 毒薬については、それを収める直接の容器又は直接の被包に、白地に黒枠、黒字をもって、当該医薬品の品名及び「毒」の文字が記載されていなければならない。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

11. 食品に関する次の記述のうち、正しいものを全て選べ。

- a. 健康増進や維持の助けとなる食品は、一般的に「健康食品」と呼ばれる。
- b. 健康補助食品（いわゆるサプリメント）の中には、カプセル、錠剤等の医薬品と類似した形状で発売されているものも多く、誤った使用法により健康被害を生じた例も報告されている。
- c. 栄養機能食品については、各種ビタミン等に対して「栄養機能の表示」ができる。
- d. 特定保健用食品については、通常の食品等では表示できない特定の「保健機能の表示」を行うことができる。

1.(a,b,c) 2.(a,b,d) 3.(a,c,d) 4.(b,c,d) 5.(a,b,c,d)

## 12.保健機能食品等の食品に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 特定保健用食品は、健康増進法に基づく許可又は承認を受けて、食生活において特定の保健の目的で摂取をする者に対し、その摂取により当該保健の目的が期待できる旨の表示をする食品である。
- b. 特別用途食品は、健康増進法に基づく許可又は承認を受けて、乳児、幼児、妊産婦又は病者の発育又は健康の保持若しくは回復の用に供することが適当な旨を医学的・栄養学的表現で記載し、かつ、用途を限定した食品である。
- c. 機能性表示食品は、安全性及び機能性に関する審査を受け、消費者庁長官の許可を受けた食品である。
- d. 特定保健用食品、特別用途食品、機能性表示食品を総称して、保健機能食品といい、食生活を通じた健康の保持増進を目的として摂取される食品である。

1.(a,b) 2.(a,d) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

## 13.医薬部外品に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 吐きけその他の不快感又は口臭若しくは体臭の防止のために使用される物は、医薬部外品から除かれている。
- b. 医薬部外品を製造販売する場合には、厚生労働大臣が基準を定めて指定するものを除き、品目ごとの承認は不要である。
- c. 医薬部外品を販売する場合には、販売業の許可は不要である。
- d. 医薬部外品は、直接の容器又は直接の被包に、「医薬部外品」の文字の表示が必要である。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

## 14.化粧品に関する次の記述のうち、正しいものを全て選べ。

- a. 化粧品は、「人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚若しくは毛髪を健やかに保つ」の範囲内においてのみ効能効果を表示することが認められている。
- b. 化粧品の成分本質（原材料）については、原則として医薬品の成分を配合してはならないこととされており、配合が認められる場合であっても、添加物として使用されるなど、薬理作用が期待できない量以下に制限されている。
- c. 化粧品を業として製造販売する場合には、製造販売業の許可が必要であり、通常、品目ごとに承認を得る必要はない。
- d. 化粧品を販売する際は、薬局の開設又は医薬品の販売業の許可を受けている場合を除き、化粧品の販売業の許可が必要である。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,d) 4.(a,b,c) 5.(b,c,d)

## 15.次のうち、化粧品の効能効果の範囲として、正しいものはどれか。

- 1. くせ毛、ちぢれ毛又はウェーブ毛髪をのばし、保つ
- 2. 皮膚の清浄、殺菌、消毒
- 3. 日やけを防ぐ
- 4. わきが（腋臭）、皮膚汗臭、制汗



## 16. 医薬品等適正広告基準に関する次の記述のうち、正しいものを全て選べ。

- a. 効能効果に一定の前提条件（いわゆる「しぼり表現」）が付されている漢方処方製剤の広告を行う場合、そのしぼり表現を省いて広告することは原則として認められていない。
- b. 一般用医薬品について、同じ有効成分を含有する医療用医薬品の効能効果をそのまま標榜することは、承認されている内容を正確に反映した広告とはいえない。
- c. チラシの同一紙面に、医薬品と医薬品ではない製品を併せて掲載することはできない。
- d. 漢方処方製剤の効能効果は、配合されている個々の生薬成分が相互に作用しているため、それらの構成生薬の作用を個別に挙げて説明することは不適當である。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(a,b,d) 5.(b,c,d)

## 登録販売者試験対策講座

### 【問題解説：第五章】

株式会社 東京マキア



## 1. 一般用医薬品の添付文書における記載事項に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

5

- a. 「服用前後は飲酒しないこと」等の小児では通常当てはまらない内容は、小児に使用される医薬品の添付文書に、その医薬品の配合成分に基づく一般的な注意事項として記載されていない。
- b. 使用上の注意は、「してはいけないこと」、「相談すること」及び「その他の注意」から構成され、適正使用のために重要と考えられる項目が前段に記載されている。
- c. 小児が使用した場合に特異的な有害作用のおそれがある成分を含有する医薬品では、通常、「次の人は使用（服用）しないこと」の項に「15歳未満の小児」、「6歳未満の小児」等と記載されている。
- d. 副作用については、まれに発生する重篤な副作用について副作用名ごとに症状が記載され、そのあとに続けて、一般的な副作用について発現部位別に症状が記載されている。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

## 2. 医薬品の直接の容器又は直接の被包に記載されていない次

ただし、厚生労働省令で定める表示の特例に関する規定は考慮しなくてよい。

- 1. 製造販売業者の氏名又は名称及び住所
- 2. 製造番号又は製造記号
- 3. 一般用医薬品にあつては、リスク区分を示す識別表示
- 4. 配置販売品目にあつては、「配置専用」の文字
- 5. 重量、容量又は個数等の内容量

3.以下の企業からの副作用症例報告に関する表について、  
( ) の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

○ 副作用症例報告		報告期限	
医薬品によるものと疑われる副作用症例の発生	使用上の注意から予測できないもの	重篤性	国内事例
		死亡	15日以内
		重篤(死亡を除く)	(a)
		非重篤	定期報告
使用上の注意から予測できるもの	死亡	15日以内	
	重篤(死亡を除く): 新有効成分含有医薬品として承認後2年以内	15日以内	
	市販直後調査などによって得られたもの	15日以内	
	重篤(死亡を除く): 上記以外	(b)	
		非重篤	
発生傾向が使用上の注意等から予測することが出来ないもの	重篤(死亡含む)	15日以内	
	重篤(死亡含む)	(c)	

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

3

1. a 15日以内 b 15日以内 c 30日以内
2. a 15日以内 b 30日以内 c 15日以内
3. a 15日以内 b 30日以内 c 30日以内
4. a 30日以内 b 15日以内 c 15日以内
5. a 30日以内 b 30日以内 c 15日以内

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

4

4.医薬品による副作用等が疑われる場合の報告の仕方に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 副作用の報告様式は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医薬品医療機器 情報提供ホームページ」より入手できる。
2. 副作用の報告様式の記入欄すべてに記入がなされる必要はない。
3. 副作用の報告様式の記入事項は、健康被害を生じた本人から直接聴取した事項でなければならない。
4. 複数の専門家が医薬品の販売等に携わっている場合であっても、当該薬局又は医薬品の販売業において販売等された医薬品の副作用等によると疑われる健康被害の情報に直接接した専門家1名からの報告書が提出されれば十分である。

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

5

5.医薬品等の安全性情報に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 医薬品の製造販売業者等は、医薬品の有効性及び安全性に関する事項その他医薬品の適正な使用のために必要な情報を収集し、検討するとともに、薬局開設者、店舗販売業者、配置販売業者及びそこに従事する薬剤師や登録販売者に対して、これを提供するよう努めなければならない。
- b. 安全性速報は、医薬品、医療機器又は再生医療等製品について一般的な使用上の注意の改訂情報よりも迅速な注意喚起や適正使用のための対応の注意喚起が必要な状況にある場合に、厚生労働省からの命令、指示、製造販売業者の自主決定等に基づいて作成される。
- c. 安全性速報は、A4サイズの黄色地の印刷物で、イエローレターとも呼ばれ、1か月以内に情報伝達される。
- d. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)の利用は、医薬関係者に限られる。

- 1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

TOKYO MAQUILLA Inc.2018

6

6. 医薬品医療機器等法第68条の10第2項の規定に基づく医薬品の副作用等報告の義務のある者を全て選べ。

- a. 病院・診療所の開設者
- b. 薬局の開設者
- c. 獣医師
- d. 登録販売者

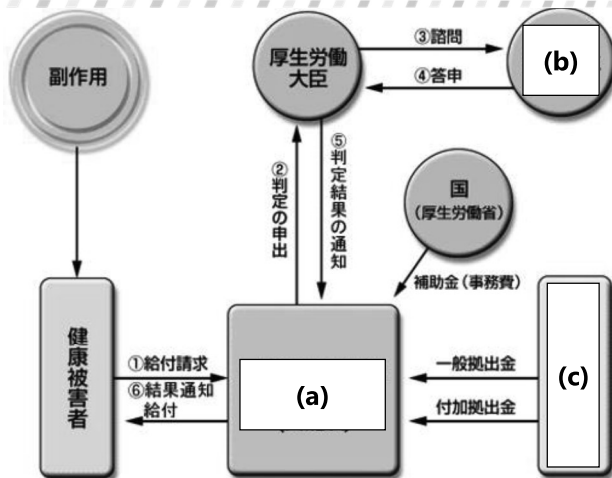
1.(a,b) 2.(b,d) 3.(a,b,c) 4.(b,c,d) 5.(a,b,c,d)

7. 医薬品の副作用等による健康被害の救済に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による被害者の迅速な救済を図るため、製薬企業の社会的責任に基づく公的制度として1980年5月より運営が開始された。
- b. 公益財団法人友愛福祉財団は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構からの委託を受けて、血液製剤によるHIV感染者・発症者に対する健康管理費用の支給等を行っている。
- c. 医薬品副作用被害救済制度における救済給付業務に必要な費用は、給付費については、製薬企業から年度ごとに納付される拠出金が充てられるほか、事務費については、その2分の1相当額は国庫補助により賅われている。
- d. 一般用医薬品の使用による副作用被害への救済給付の請求に当たっては、医師の診断書等が必要となるが、その医薬品を販売等した薬局開設者、医薬品の販売業者の作成した販売証明書は不要である。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

8. 医薬品副作用被害救済制度に関する次の概略図について、( )の中に入れるべき字句の正しい組合せはどれか。



- 1. a 総合機構 b 日本製薬団体連合会 c 医薬品販売業者
- 2. a 日本製薬団体連合会 b 総合機構 c 医薬品販売業者
- 3. a 総合機構 b 薬事・食品衛生審議会 c 医薬品製造販売業者
- 4. a 日本製薬団体連合会 b 薬事・食品衛生審議会 c 医薬品販売業者
- 5. a 総合機構 b 日本製薬団体連合会 c 医薬品製造販売業者

9. 医薬品副作用被害救済制度における給付の種類に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 遺族年金は、生計維持者が医薬品の副作用により死亡した場合に、その遺族の生活の立て直し等を目的として15年間給付される。
- b. 医療手当は、医薬品の副作用による疾病（「入院治療を必要とする程度」の場合）の治療に要した費用の実費を補償するものである。
- c. 障害年金は、医薬品の副作用により一定程度の障害の状態にある18歳以上の人の生活補償等を目的として給付されるものである。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4.(a,c) 5.(b,d)

10. 次の一般用医薬品のうち、医薬品副作用被害救済制度の対象となる正しいものの組合せはどれか。

- a. ビタミン主薬製剤
- b. 一般用検査薬
- c. 点鼻薬
- d. 人体に直接使用しない殺菌消毒剤

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

11. 医薬品PLセンターに関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 医薬品及び医療機器に関する苦情の申立ての相談を受け付けている。
- b. 医薬品副作用被害救済制度の対象とならないケースのうち、製品不良など、製薬企業に損害賠償責任がある場合には、医薬品PLセンターへの相談が推奨されている。
- c. 製造物責任法の施行と同時に、独立行政法人医薬品医療機器総合機構により開設された。

1.(a) 2.(b) 3.(c) 4.(a,c) 5.(b,d)

12. 一般用医薬品の安全対策に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. アンプル入りかぜ薬の使用による重篤な副作用で複数の死亡例が発生し、1965年、厚生省（当時）より関係製薬企業に対し、緊急安全性情報の配布が指示された。
- b. 小柴胡湯とインターフェロン製剤の併用例による間質性肺炎が報告されたことから、1994年1月、インターフェロン製剤との併用を禁忌とする旨の使用上の注意の改訂がなされた。
- c. 2003年5月までに、一般用かぜ薬の使用によると疑われる重篤な副作用（ショック）の発生事例が、計26例報告されたため、厚生労働省から関係製薬企業に対し、緊急安全性情報の配布が指示された。
- d. 塩酸フェニルプロパノールアミン（PPA）含有医薬品について、2000年5月米国で、女性が食欲抑制剤（我が国での鼻炎用内服薬等における配合量よりも高用量）として使用した場合に、出血性脳卒中の発生リスクとの関連性が高いとの報告がなされ、米国食品医薬品庁（FDA）から、米国内における自主的な販売中止が要請された。

1.(a,b) 2.(a,c) 3.(b,c) 4.(b,d) 5.(c,d)

YouTube問題集 答え

第一章	
1	5
2	4
3	2
4	5
5	5
6	5
7	4

第二章	
1	5
2	3
3	3
4	2
5	4
6	2
7	2
8	3
9	1
10	1
11	1
12	4
13	2
14	3
15	4
16	5
17	5
18	1
19	4
20	3
21	3

第三章	
1	2
2	5
3	3
4	3
5	5
6	3
7	3
8	4
9	2
10	1
11	2
12	5
13	4
14	1
15	1
16	1
17	1
18	5
19	2
20	2

第三章	
21	5
22	1
23	2
24	1
25	5
26	3
27	3
28	2
29	1
30	3
31	3

第三章 漢方	
1	4
2	1
3	1
4	4
5	1
6	1
7	3
8	2
9	3
10	5

第四章	
1	2
2	4
3	2
4	2
5	2
6	5
7	2
8	3
9	5
10	1
11	5
12	1
13	5
14	4
15	3
16	4

第五章	
1	3
2	4
3	2
4	3
5	1
6	5
7	2
8	3
9	3
10	2
11	2
12	4